

令和4年度学校給食用牛乳供給円滑化推進事業のうち学校給食用牛乳供給推進会議の実施結果
(九州農政局)

都道府県名	福岡県		佐賀県		長崎県	
(1)会議等の名称	第1回学校給食用牛乳供給推進協議会	第2回学校給食用牛乳供給推進協議会	学校給食用牛乳供給推進会議	学校給食用牛乳供給事業実施計画策定等に係る会議	学校給食用牛乳供給推進会議	学校給食用牛乳推進実務担当者会議
(2)日時	令和4年10月31日	令和5年3月27日	令和4年6月10日	令和4年3月20日	令和4年11月11日	令和5年3月24日
(3)場所	福岡市	福岡市	佐賀市	小城市	長崎市	長崎市
(4)参加機関と人数	行政、県給食会、関係団体等11名	行政、県給食会、関係団体等10名	行政、県給食会、関係団体等8名	行政、県給食会、関係団体等8名	行政、県給食会、関係団体等11名	行政、県給食会、関係団体等7名
(5)議題	・酪農の現状について ・学乳供給の現状について	・酪農の現状について ・学乳供給の現状について	・令和3年度学校給食用牛乳供給事業実績について ・令和4年度学校給食用牛乳供給事業について	・令和4年度学校給食用牛乳供給事業 ・令和5年度学校給食用牛乳供給事業内容 ・令和5年度学校給食用牛乳供給事業実施計画	・令和3年度事業の実績について ・令和4年度事業の実施状況等について	・令和5年度学校給食用牛乳供給推進の内容について ・令和4年度学校給食用牛乳供給推進実績報告及び令和5年度学校給食用牛乳供給推進実施計画について
(6)概要	【主な意見等】 ・時期的なことや関係者の話を聞く限りでは、期中改定は難しいと考える。 ・今後、来年度学乳価格決定に向けた乳業者の原価調査を行う中で、しっかりと乳業者の状況を把握し、来年2月の見積徴収会に向けた対応をとっていく。	【主な意見等】 ・前回の推進協議会でも協議したように、年度内に学乳価格の期中改正を行うのは厳しいと言わざるを得ない。 ・2月の見積徴収で決めればかりなのに、今の段階で次の価格改定の話は、父兄の理解が得られない。	令和3年度事業の実績ならびに4年度事業内容について検討 【主な意見等】 特になし	令和4年度事業の経過ならびに5年度事業計画について検討	【主な意見】 ・食料品の高騰を受け年間計画が立てづらい状況の為、保護者負担額の通知を早めて頂きたい。 ・パック業者からストローレスパックのテストカートの提供があった。将来的には導入していきたい。 ・市乳は11月から価格改定をしている。学乳についてもご尽力いただきたい。	【主な意見等】 ・ストローレスパックも現状のパックより高くなると思われるが、環境に配慮した取り組みとして前向きに取り組んでいきたい。 ・学乳の期中値上げについては、給食費は途中で上げられないため慎重にお願いしたい。 ・輸送燃料費の高騰や今後の人手不足なども予想されるため、隔日配送や前日配送も今後検討して頂きたい。
(7)成果	酪農乳業業界の厳しい現状は本会議の参加者で共有できたと思う。	・意見交換の発言をまとめると、やはり学乳価格の年度途中の改定は難しい意見であることが分かった。 ・関係機関で情報共有するという点については重要であるので、今後とも大きな動きがあった時には協議の場を設定させていただきたい。	学校給食用牛乳の供給に関係する機関の担当者へ事業実績ならびに事業計画について会議資料の報告ならびに確認を行い、事業の円滑な実施に向け連携が図れた。	学校給食用牛乳の供給に関係する機関の担当者へ4年度の事業経過ならびに5年度の事業内容・計画について検討を行い、事業の円滑な実施に向け連携が図れた。	学校給食用牛乳に対する共通認識、相互理解が得られた。	令和5年度事業内容の把握ができ、課題や問題点を出席者全員が共有できた。

令和4年度学校給食用牛乳供給円滑化推進事業のうち学校給食用牛乳供給推進会議の実施結果
(九州農政局)

都道府県名	熊本県		大分県		
(1)会議等の名称	学乳推進協議会	学乳推進協議会	学校給食用牛乳供給推進会議	学校給食用牛乳供給推進会議	学校給食用牛乳供給推進会議
(2)日時	令和4年10月19日	令和5年3月17日	令和4年7月22日	令和4年12月9日	令和5年3月9日
(3)場所	熊本市	熊本市	大分市	大分市	大分市
(4)参加機関と人数	行政、県給食会、関係団体等9名	行政、県給食会、関係団体等8名	行政、関係団体等10名	行政、県給食会、関係団体等11名	行政、県給食会、関係団体等11名
(5)議題	・令和3年度学校給食用牛乳供給事業実績について ・令和4年度学校給食用牛乳供給事業計画について ・学乳のHACCPに沿った衛生管理の取り組みについて	・令和4年度学校給食用牛乳供給事業実施状況について ・令和5年度学校給食用牛乳供給事業計画について ・令和5年度学校給食用牛乳の衛生管理の取り組みにつ	・令和3年度学校給食用牛乳供給事業の実績について ・令和4年度学校給食用牛乳供給事業の計画について	・酪農乳業情勢の詳細説明について ・学校給食用牛乳供給価格期中改定の経緯について	・令和4年度学校給食用牛乳供給推進事業の実施状況について ・令和5年度学校給食用牛乳供給推進事業の計画について
(6)概要	・令和3年度学校給食用牛乳供給推進事業実績について事務局より報告。 ・HACCPに沿った衛生管理の徹底を会員に周知したことや、供給事業者の現状について説明し協議した。さらに今年度から衛生管理の講習会への参加や、「学乳の事故発生時の対応マニュアル」を確認した。	・令和4年度学校給食用牛乳供給推進事業実績見込みについて事務局より報告。 ・事務局より令和4年度から要件となっている衛生管理講習会への参加や自工場における自己チェックリスト表がすでに会員から事務局(普及協会)へ提出されていることを報告した。	- 以下について検討 ・ストローレス対応の他県の状況と問題点及び衛生面の課題 ・学校用給食用容器回収袋の学校対応 ・学校給食用牛乳の配送にあたる事業者への衛生管理の指導	・学校給食用牛乳の供給価格改定に伴う対応の経緯説明 ・供給価格改定の通知方法	・学校給食用牛乳供給価格改定の際の酪農乳業界の環境説明について ・学校給食用牛乳の学校からの発注書様式統一の検討
(7)成果	・令和4年度事業内容について周知できた。 ・HACCPに沿った衛生管理の徹底について共通認識をもてた。	・令和4年度事業実施状況について共有できた。 ・令和5年度事業内容について周知できた。	当該年度の事業内容、事業計画についての情報共有を図り、今後の取り組み課題等の共通認識が図られた。	令和5年1月からの供給価格改定が実現した。	次年度の事業内容を理解し、各機関と連携し円滑な実施が図られた。

令和4年度学校給食用牛乳供給円滑化推進事業のうち学校給食用牛乳供給推進会議の実施結果
(九州農政局)

都道府県名	宮崎県		鹿児島県		
(1)会議等の名称	令和4年度宮崎県学校給食用牛乳協議会	令和4年度宮崎県学校給食用牛乳協議会	学校給食用牛乳供給推進会議(第1回)	学校給食用牛乳供給推進会議(第2回)	学校給食用牛乳供給推進会議(第3回)
(2)日時	令和4年10月18日	令和4年12月23日	令和4年8月23日～9月9日	令和4年9月26日	令和5年3月15日
(3)場所	書面開催	宮崎市	書面開催	鹿児島市	鹿児島市
(4)参加機関と人数	行政、県給食会、関係団体等	行政、県給食会、関係団体等20名	行政、県給食会、関係団体等15名	行政、県給食会、関係団体等15名	行政、県給食会、関係団体等13名
(5)議題	令和4年度学校給食用牛乳の供給価格の見直し(期中改定)について	・令和4年度学校給食用牛乳供給推進事業について ・令和4年度宮崎県牛乳普及協会事業計画について ・学乳事故における連絡体制の変更について	・令和4年度学校給食用牛乳供給推進事業について ・令和3年度学校給食用牛乳供給推進事業実績について ・令和4年度学校給食用牛乳供給推進事業計画について	・酪農乳業をめぐる情勢について ・令和4年度学校給食用牛乳の期中改定について	・令和5年度学校給食用牛乳供給推進事業の概要について ・令和5年度学校給食用牛乳供給事業計画について
(6)概要	令和4年度供給価格に対して「一律2.10円/本を値上げする」について回答を依頼した。 ・酪農経営をめぐる情勢や酪農乳業が抱える課題についてまとめ、資料を送付した。	【主な意見等】 ・学校給食が休止となる年末年始や年度末からゴールデンウィークにかけて生乳需給に影響を及ぼすことから、さらなる消費拡大運動と乳製品需要の底上げが必要である。 ・引き続き、効果的な消費拡大運動やイベント等、実施してほしい。	【主な意見等】 意見・質問なし	【主な意見等】 ・交付金活用には手続きに時間もかかり各市町村の考え方もあるので急な期中改定対応は難しい。 ・供給価格の見直しについては各市町村への通知、議会報告決定も必要であるため早めの通知をお願いしたい。	【主な意見等】 ・乳価の取引価格の改定があれば値上げは検討せざるおえない。 ・期中改定を含めての動きがあれば市町村等との問題も出てくるので早めの周知をお願いしたいと思う。 ・牛乳パック等の原材料費や工場の稼働費の増加もあり、厳しい状況であることをご理解いただきたい。
(7)成果	期中改定の同意をいただき、また、酪農経営をめぐる情勢や酪農乳業が抱える課題について情報共有することができた。	・学校給食での牛乳供給のための意見が出され、関係者で情報を共有することができた。 ・出席者から出された意見を今後の普及に役立てることとした。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、書面による開催となったが、事業の仕組みや実施状況、本県酪農の現状等が理解され、今後の円滑な事業推進に向けた共通認識が図られたと考えられる。	酪農乳業界の現状等が理解され、牛乳供給価格の期中改定見直しについても今後の円滑な事業推進に向けた共通認識が図られたと考えられる。	・事業の仕組み、概要等が理解された。 ・本県酪農の現状等が理解され共通認識が図られたと考えられる。 ・令和5年度事業実施計画の内容が再確認された。 ・当該事業の円滑な推進に向けた共通認識が図られた。